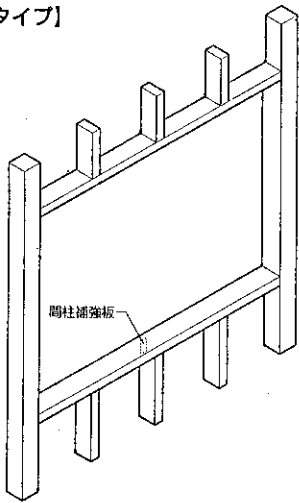


居室用出窓LJⅡ型 取付け説明書

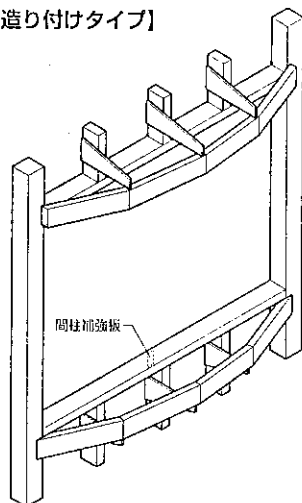
取付け順序

1 開口部の作成

【ユニットタイプ】

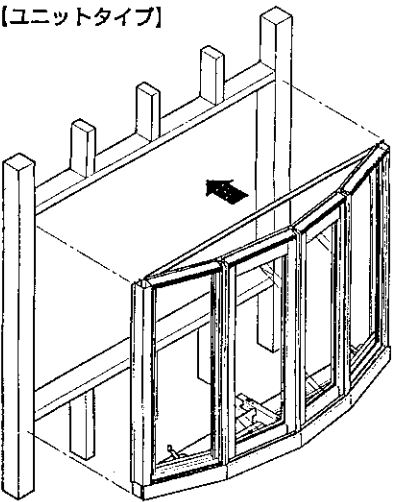


【造り付けタイプ】

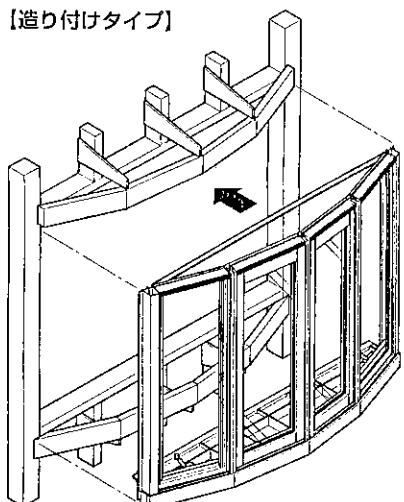


2 本体の取付け

【ユニットタイプ】

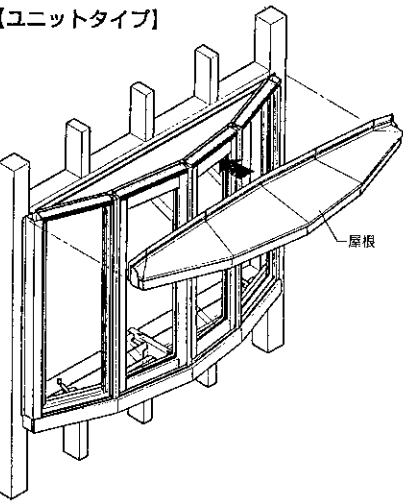


【造り付けタイプ】

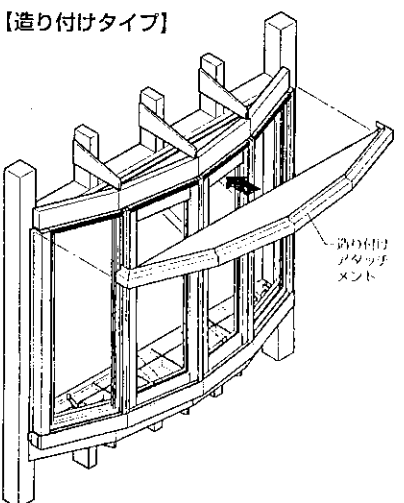


3 屋根・造り付けアタッチメントの取付け

【ユニットタイプ】



【造り付けタイプ】



4 障子の取付け

5 テーブル板の取付け

※この説明書は、必ず施工される方へお渡しください。

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

施工上のお願い

- 屋根にはしこを架けたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組み立てた製品を運搬する際、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。

※下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。

- 出窓下部を造り付けにする場合は、下枠幅木が必ず外部に出る納まりにしてください。(詳細は参考納まり図をご覧ください。)
- 躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
- 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
- 外壁は44mm以下に仕上げてください。

▲注意

※下記項目は、出窓の前倒れの原因になりますのでご注意ください。

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱補強板を、必ず間柱と窓台(室内側)へ取り付けてください。
- 窓台は厚さ45mm以上にしてください。
- 取付けの際は必ず、下枠補強材から固定してください。
- 下枠補強材と窓台との間に透き間のないよう固定してください。
- 出窓を躯体に取り付ける前に障子を建て込まないでください。

取付け詳細

●図中の記号は、ねじ台紙の記号と共通です。台紙を参照のうえ、間違いないよう使用してください。

1 開口部の作成

●水平・垂直を出します。

▲注意

- 間柱補強板を、必ず間柱と窓台(室内側)へ取り付けてください。(A部詳細図)
- 窓台は厚さ45mm以上にしてください。

【お願い】

- 内装材を直張りする場合は、窓台・間柱を掘り込んで間柱補強板を取り付けてください。

■在来工法の場合

- 開口ROH寸法=出窓基本寸法H+28mm
- 開口OW寸法=出窓基本寸法W+58mm

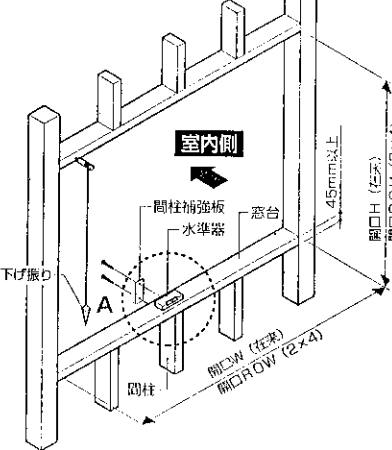
幅呼称 (R)	4.0	4.5	5.0	幅呼称 (R)	6.0	9.0
開口H寸法 (mm)	1213	1364	1516	開口W寸法 (mm)	1696	2608

■2×4工法の場合

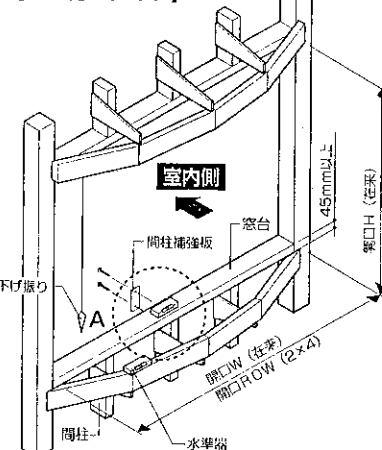
- 開口ROH寸法=出窓基本寸法H+30mm
- 開口ROW寸法=出窓基本寸法W+60mm

幅呼称 (R)	4.0	4.5	幅呼称 (R)	6.0	9.0
開口ROH寸法 (mm)	1250	1400	開口ROW寸法 (mm)	1650	2480

【ユニットタイプ】



【造り付けタイプ】



▲注意

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。

A部詳細図

窓台(45mm以上)

室内

間柱

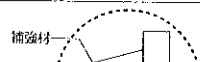
間柱補強板

●幅呼称6.0R 1カ所

●幅呼称9.0R 3カ所

■上部受材・下部受材の作り方【造り付けタイプ】

(下部受材から上部受材までの受材間口H'寸法の採り方)



2 本体の取付け

1 屋根・造り付けアタッチメントの取付け

- ①【ユニットタイプ】は、本体を開口部に差し込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
【造り付けタイプ】は、本体を開口部に差し込み、下枠補強材と躯体に透き間のないようねじで固定します。(縦枠を固定するまで手で支えてください。)

▲注意

- 取付けの際は必ず、下枠補強材から固定してください。

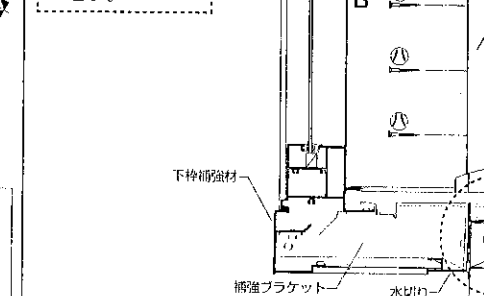
- ②縦枠(室外側)を、躯体と透き間のないよう固定します。

- ③屋根又は、天板をはめ込んだ造り付けアタッチメントを本体に差し込み、方立上部ジョイントピースをねじ止めします。(B部詳細図)

- ④【ユニットタイプ】は、①で屋根を躯体に固定します。
【造り付けタイプ】は、φ4×20ナベタッピンねじで、造り付けアタッチメントを躯体に固定します。

▲注意

- 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

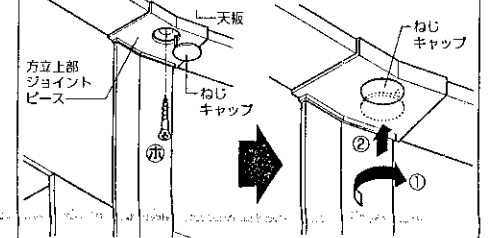


4 障子の取付け

- ①障子の下横・上横からフリクションステー(アーム)を引き出し、枠に固定します。

B部詳細図

※方立上部ジョイントピースをねじ止めした後、ねじキャップを回転し(①)押し込みます。(②)

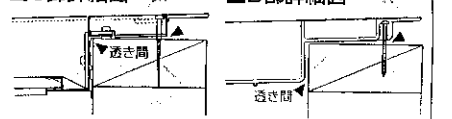


▲注意

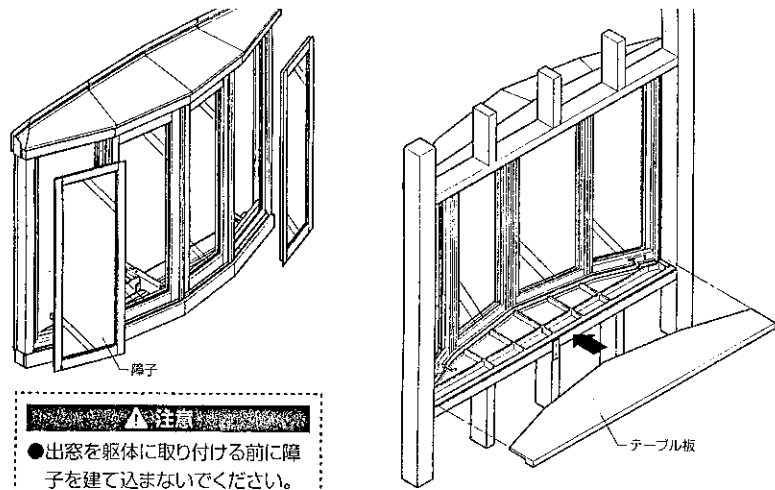
- 下枠補強材と窓台との間に透き間のないよう固定してください。

C部詳細図

D部詳細図



- ②ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
- ③障子の連結アームとねじで固定します。



注意
●出窓を躯体に取り付ける前に障子を建て込まないでください。

1 造作材（仕上げ材）と、縦枠（室内側）・天板見切り縁の固定

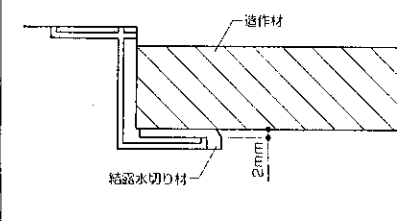
●金ねじを使用します。

2 結露水切り材（オプション品）の取付け

※造作材（仕上げ材）は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

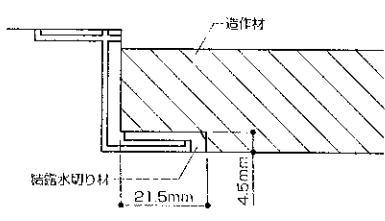
●加工できない場合

(ウッディーライン・化粧合板等)



●加工できる場合

※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。



くになりますのでご注意ください。

■在来工法の場合

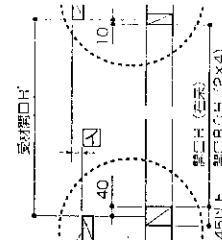
幅呼称 (R)	4.0	4.5	5.0
受材開口H寸法 (mm)	1263	1414	1566

■2×4工法の場合

幅呼称 (R)	4.0	4.5
受材開口H寸法 (mm)	1300	1450

●下部受材は厚さ45mm以上、補強材は板厚30mm以上にします。

下部受材 (厚さ45mm以上)
補強材 (板厚30mm以上)



■上部受材寸法・下部受材形状の出し方

※上部受材 (上図上の点線部) の寸法は以下のとおりです。

■在来工法

幅呼称 (R)	6.0	9.0
A	1719	2631
B	449	547
C	443.5	542.5
D	264	344

■2×4工法

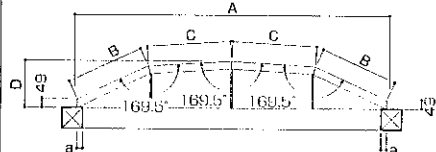
幅呼称 (R)	6.0	9.0
A	1671	2501
B	436.5	520
C	431.5	515.5
D	258	329.5

※下部受材 (上図下の点線部) の形状は以下のとおりです。



※下部受材は上部受材形状より寸法=(17mm+外壁仕上げ厚さ)分小さい (室内側に寄った) 形状になります。

●幅呼称6.0尺

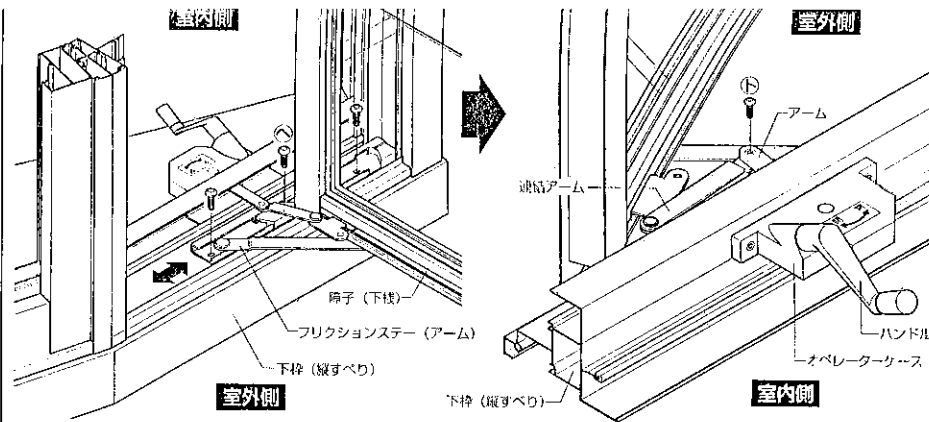
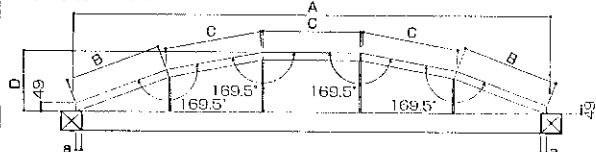


●開口部の水平・垂直及び、製品取付け部の平面を出してください。

※出幅寸法 (D) が入さくならないようにします。

※柱のかり寸法 (a) を左右同じにしてください。

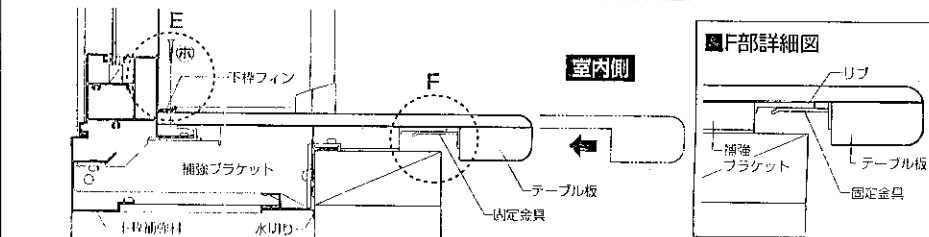
●幅呼称9.0尺



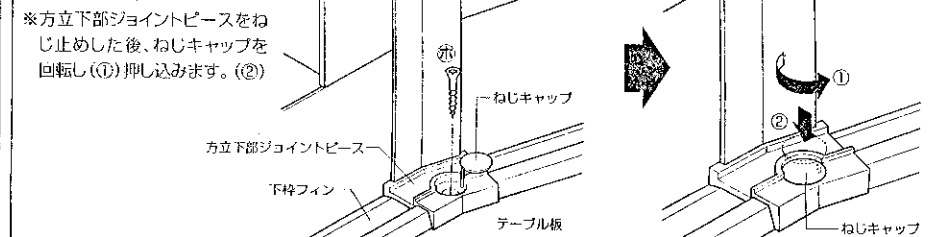
3 テーブル板の取付け

●テーブル板を室内側から下枠フィンに差し込み、ねじで固定します。(E部詳細図)

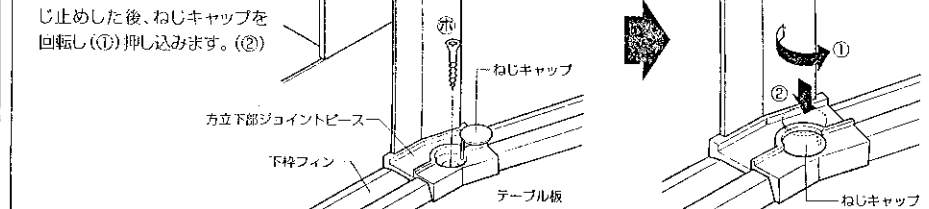
※補強ブラケットのリップと固定金具が必ず引っ掛かるようにしてください。(F部詳細図)



4 E部詳細図



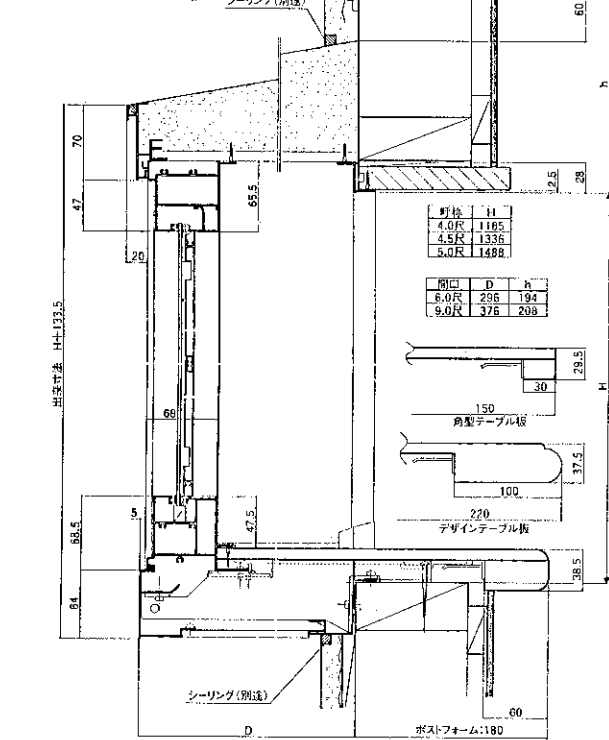
5 F部詳細図



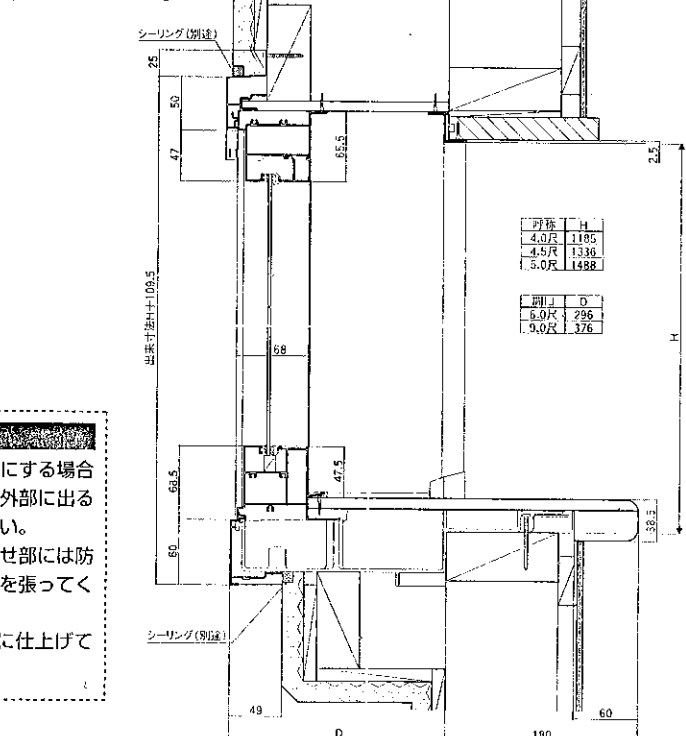
参考納まり図

●縦断面図 (在来工法)

【ユニットタイプ】

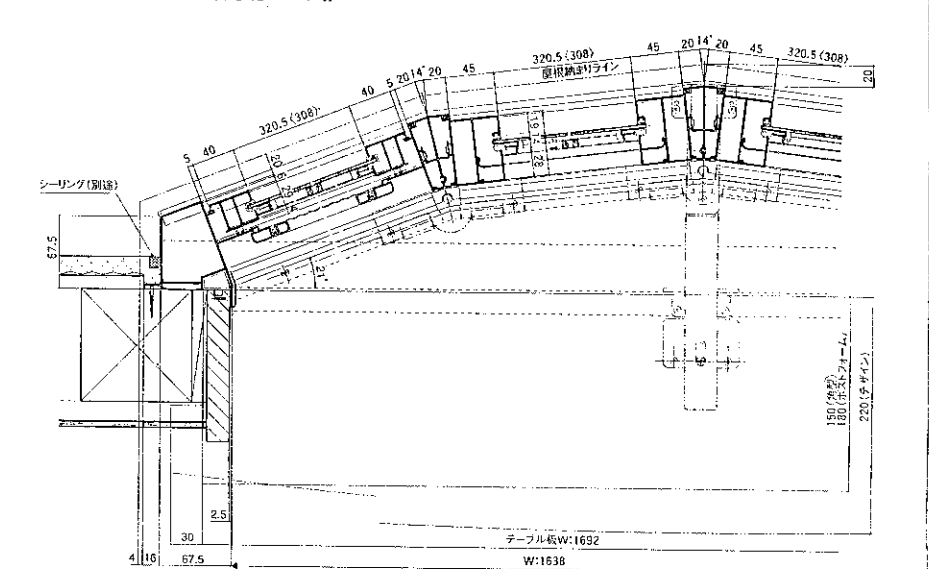


【造り付けタイプ】



注意
●出窓下部を造り付けにする場合は、下枠幅木が必ず外部に出る納まりにしてください。
●躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ (別売り) を張ってください。
●外壁は44mm以下に仕上げてください。

●横断面図 (在来工法：幅呼称6.0尺)



※〈 〉内寸法は2×4用の寸法を示す。